





61	調達仕様書	3	1	6	1. 6. 作業スケジュール 2023年度4月 ▲提供開始	構築期間を確保するため ▲提供開始時期を4月より前にする ことは可能か、可能であれば最速いつになるか。			がパナシオクラウドの提供時期につきましては、現時点において前倒しの予定は ありません。つきましては、仕様書記載のとおり2023年4月からの提供開始を新 規とした提案をご提出をお願いします。
62	調達仕様書	3	1	6	1. 6. 作業スケジュール ※2 本件特定役務のスケジュール(想定)の項書8	項書8の保守管理事業者への引継ぎは役務の作業範囲となる が、次期事業者への引継ぎはいつから可能か。			現時点で保守管理事業者の引継ぎ時期は明確にできないため、詳細については契約 締結後に判明次第、お伝えさせていただきます。
63	調達仕様書	9	4	4	4. 4. 1. 基本的な要件 ①特許ソフトウェア固有の機能に依存しない設計とし、将来的なクラウド環境 変更を可能とする構成とする。	特定クラウドベンダー固有の機能とは、SaaSで提供されている サービスがあげられるが、認識に相違ないか。			相違ありません。
64	調達仕様書	11	4	4	24. 4. 2. 基本設計 ③外部システムとのインタフェース基本設計(故障時の運用設計を含む)を行うこと。	仕様明確化のため修正案を承知します。 ③ELGAと連携済みの外部システムや今後、連携予定で調整 を開始している外部システムのインタフェース仕様や接続条 件に影響が出ないよう設計を考慮すること。 やむを得ず変更する場合は、財務者が行う外部システムとの 調整作業を支援すること。	外部システム側への影響を最小限にするため、必要と考 える。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
65	調達仕様書	11	4	4	3. 4. 3. 詳細設計 ③外部システムとのインタフェース詳細設計(故障時の運用設計を含む)を行うこと。	仕様明確化のため修正案を承知します。 ③ELGAと連携済みの外部システムや今後、連携予定で調整 を開始している外部システムのインタフェース仕様や接続条 件に影響が出ないよう設計を考慮すること。 やむを得ず変更する場合は、財務者が行う外部システムとの 調整作業を支援すること。	外部システム側への影響を最小限にするため、必要と考 える。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
66	調達仕様書	18	4	9	4. 9. 引継ぎ 受託者は、本件特定役務の契約終了後本システムの保守管理業務を行う供給 者への引継ぎの実施に当たって、財務者と協議の上、引継ぎ事項(情報セキュリティ 方針に抵触する事項を含む)、スケジュール、手順、資料、対象者の研修状況を 確認するための検査実施、完了条件を事前に通知し時限内に報告すること。また、 引継ぎ完了後は、引継ぎ計画・結果報告書を作成し、財務者の承認を得ること。	本件特定役務の契約終了後本システムの保守管理業務 を行う供給者への引継ぎという理解でよいのか、それとも、 本件特定役務の本システムの切替前から契約期間中にお ける保守管理業務への引継ぎを意味しているか。	本件特定役務の契約終了後本システムの保守管理業務 を行う供給者への引継ぎという理解でよいのか、それとも、 必要と考える。	無	項書62と同様
67	調達仕様書	19	4	10	4. 10. 1. 教育訓練計画・実施報告書の作成 現在稼働中のシステムから大幅な変更が生じる場合は、財務者と協議の上で教 育訓練を実施すること。教育訓練の実施に当たっては、教育訓練実施体制、役割、 スケジュール、教育訓練計画、教育訓練方法等事前に整理、財務者に報告する こと。また、教育訓練実施後は、教育訓練実施計画・実施報告書を作成し、財務者 の承認を得ること。 なお、教育訓練実施計画・実施報告書には、習熟度を確保するためのアンケート調 査等の結果、受講者から寄せられた質問内容や回答内容を含むこと。	大幅な変更の程度を伺いたい。 例)画面等のレイアウトが変更になった。操作フローが変わ るなど。	大幅な変更が不明確のため。	無	お見込みのとおり、画面レイアウトの変更等によりUI-UXが変更となる場合を想定し ております。 なお、詳細は受託後に適宜財務者と協議の上決定いたします。
68	調達仕様書	19	4	11	4. 11. 1. 運用・保守計画 ①運用・保守計画書の記載内容 運用・保守計画書には、作業概要、作業体制、スケジュール、モニタリングすべ きデータ・リソース、使用する運用監視機能・ツール、各作業の完了条件、成果物、運 用・保守形態、運用・保守環境、管理対象、サービスレベル、運用・保守を行う上 での前提条件や制約条件等について記載すること。	本件特定役務では運用保守は8か月間となるが、令和10年4 月以降の運用保守も実施し運用保守計画とし、それと同等の 作業を運用期間で実施すること。に修正してほしい。	従来の運用期間を延長した運用保守計画であることを 明確に記載すべきと考える。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
69	調達仕様書	29	4	17	4. 17. 1. 成果物一覧 契約終了日 なお、具体的な日付は、受託後、財務者と協議の上決定する。	保守に係る成果物も契約終了日(2028年3月)の納入期限と なっているが、運用手続書など運用保守に必要なものがある ため「運用保守開始前」としたい。	運用保守開始前に必要なドキュメントと思われるため、	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
70	調達仕様書	41	8	1	B 入力参加資格に関する事項 B. 1. 1. 必須な資格や認定等の取得 ① 資格・認定要件 ・品質ISO9000 又はJIS Q 9001 ・標準ISO14001 又はJIS Q 14001 ・情報セキュリティJIS Q 27001、ISO/IEC27001 ・プライバシーマーク制度の認定	左記に加えてサービス開発、管理における以下もITシステム 構築の上で有用な資格と考える。 ・ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000(ITSSMS) ・組織が提供するITサービスの内容やリスクを明確にし、サー ビスの継続的な管理、高い効率性、継続的改善を実現する ための枠組みを示した国際規格で本業務に有用と考える。 ・能力成熟度モデル結合 CMMI-DEV レベル3以上 ISACAが提供する製品・サービス開発組織向けの最新の能力 成熟度モデル結合、プロジェクト管理、エン지니어リング、プロ セス管理のベストプラクティスを統合し、組織のハイパーメ ンズ、高品質、生産性を向上するため、本業務に有用と考える。	【修正案】 ① 応札者は、品質マネジメントシステムに係る以下のいずれかの条件を満たす こと。 ・品質マネジメントシステムの規格である「JIS Q 9001」又は「ISO9001」の認 定を、業務を遂行する組織が有していること。 ・開発プロセスの成熟度に関する認定として、「CMMI-DEV レベル3以上」の認 定又はこれと同等の品質管理手順及び体制を、業務を遂行する組織が有してい ること。	有	
71	別添1 要件2	33	3	10	7. 10. 7 ソフトウェアに関する脆弱性対策 ② 運用開始前に新たに発生する脆弱性を悪用した不正を防止するため、情報シ ステムを構成するソフトウェア及びハードウェアの更新を行う方法(手順 等)を備えること。	脆弱と思われるため以下に修正案を示す ② 運用開始前に新たに発生する脆弱性を悪用した不正を 防止するため、情報システムを構成するソフトウェア及びハ ードウェアの更新方法(手順等)を備えること。	脆弱と思われるため。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
72	別添1 要件2	37, 38	3	11	4 9. 11. 1クラウドサービス構成 9. 11. 4クラウドサービス構成 9. 11. 5クラウドサービス構成(想定)及び 9. 11. 6ネットワーク構成要素の記載について	運用観点から指摘において、図7ではインターネット経由と なっており、図8では運用拠点接続用回線と記載されて いるが、どちらが正しいか。	記載を統一した方がよい。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
73	別添1 要件2	38	3	11	9. 11. 5 脆弱・攻撃要件 GSS G-Netシステム稼働環境との間を接続するための、GSS G-Net との接続に必要な各種物理機器を設置するため、ハウジングスペースを提供する こと	仕様書4. 5. 6. 回線等の接続工事に、以下記載があるため 以下の理解で良いか。 仕様書4. 5. 6. 回線等の接続工事 がインターネットを利用する場合は、GSS G-Netはがイ ンターネットに接続済であるため、追加の物理工事は不要であ る。ただし、利用に当たり、デジタル庁と財務者の調整を支援 し、関係調整や検証方法、検査実施を設計者に依頼すること。	記載を統一した方がよい。	有	当意見を踏まえ、修正いたします。
74	別添1 要件2	47	3	17	3. 17. 2 定常時運用業務 ② 情報システム維持作業 定常時におけるバックアップの要件を以下に示す。 バックアップデータは、災害発生時等に備え、クラウドサービスに保管できること。また 、システム監査や統計上必要なものは、長期保管データとして、クラウドサービス に長期保管できること。	災害発生時等に備え、別リジョン等での保管を怠っている ことではないか。	要件は記載のとおりとなります。なお、有事に対する具体的な対応は別途、提案 等にてご記載頂ければと思います。	無	
75	別添2 会計系 務電子決裁基 層・証書管理 システム のクラウド移行 に係る設計等 業務(保守管 理業務に關 する特定役務)	4	-	-	表1 定常時運用業務 ① 消耗品の補充 プリンタの消耗品(用紙、トナー等)が不足している場合は、必要に応じて補充や交換 を行うこと。補充後は、動作、印字状態等を確認すること。 また、消耗品の管理記録等は、保守管理業務供給者が管理すること。具体的な管 理方法等については、受託後、財務者と調整し作業計画書及び作業実施要領に定 めること。	3. 2. 4 機器等の設置方針 にはプリンタの記載のため、 本役務も必要と考える。			当意見を踏まえ、修正いたします。